

◇ 日 本 史

日 3－1～日 3－15 まで 15 ページあります。

第1問 聖徳太子（厩戸王）に関する次の文章を読み、下の問い（問1～11）に答えなさい。

2021年4月27日から6月20日までの間、奈良国立博物館において、聖徳太子の1400年遠忌を記念する特別展「聖徳太子と法隆寺」が開催された。奈良国立博物館のホームページには次のように述べられている（出題の関係から空欄にした箇所や下線を施した箇所がある）。

奈良・斑鳩の地に悠久の歴史を刻む(1) 法隆寺は、(ア) 天皇15年(607)、聖徳太子によって創建されたと伝えられます。(2) 太子は仏教の真理を深く追求し、また(3) 冠位十二階や憲法十七条などの制度を整えることで、後世に続くこの国の文化的な基盤を築き上げました。聖徳太子を敬う人々の心は、その没後に信仰として発展し、今日もなお日本人の間に連綿と受け継がれています。

令和3年(2021)は聖徳太子の1400年遠忌にあたり、これを記念して特別展「聖徳太子と法隆寺」を開催します。本展覧会では(4) 法隆寺において護り伝えられてきた寺宝を中心に、太子の肖像や遺品と伝わる宝物、飛鳥時代以来の貴重な文化財を通じて太子その人と太子信仰の世界に迫ります。さらに、明治11年(1878)に法隆寺から皇室へと献納された「法隆寺献納宝物」が、奈良へまとまって里帰りする貴重な機会ともなります。

本展覧会は1400年という遙かなる時をこえて、今を生きる私たちが聖徳太子に心を寄せることでその理想に思いを馳せ、歩むべき未来について考える絶好の機会となることでしょう。

https://www.narahaku.go.jp/exhibition/special/202104_horyuji-2/ 2021年6月21日閲覧

この特別展では、(5) 6世紀末から7世紀初頭の時期、倭国の国づくりに大きな役割を果たした聖徳太子（厩戸王）と彼が尊重した仏教に関わる文化財が多数展示された。

また、聖徳太子（厩戸王）の死後しばらくすると(6) 聖徳太子に対する信仰、いわゆる太子信仰が起こり、その生涯を描いた絵伝のほかにも、多数の太子信仰に関わる作品が制作された。特に、聖徳太子の五百回忌とされる(7) 1121年（保安2年）や六百回忌の(8) 1221年（承久3年）と七百回忌の(9) 1321年（元応3年2月改元／元亨元年）には太子信仰がおおいに盛り上がり、多数の聖徳太子像や絵伝の優品が生み出された。特別展では、そうした太子信仰に関わる文化財も展示された。

問1 下線部(1)に関連して、法隆寺をはじめ聖徳太子に関わって建立された寺院について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 法隆寺は、『日本書紀』に670年に焼失したと記されており、現存する五重塔や金堂は、それ以後に再建されたと考えられている。
- ② 中宮寺は、法隆寺に隣接する尼寺で、聖徳太子が母親の宮跡を寺にしたものとされている。
- ③ 飛鳥寺は、聖徳太子が飛鳥に建立した寺で斑鳩寺とも呼ばれ、鞍作鳥作の釈迦像が遺されている。
- ④ 四天王寺は、聖徳太子が物部守屋との戦いで四天王に祈り、勝利を得たことで創建したとされている。

問2 空欄(ア)に入る天皇として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 欽明 ② 用明 ③ 推古 ④ 舒明

問3 下線部(2)に関連して、聖徳太子の伝記である『上宮聖徳法王帝説』によれば、聖徳太子が重んじた仏教がわが国に公的に伝来したとされるのはいつか。その公伝した年を西暦で表示した場合に正しい年を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 527年 ② 538年 ③ 552年 ④ 587年

問4 下線部（3）に関連して、冠位十二階と憲法十七条について述べた次の文X・Yについて、正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 4

X 冠位十二階は、氏族ではなく個人の才能や功績により、色別の冠を授ける冠位制度であった。

Y 憲法十七条は、豪族たちに官僚としての自覚を求めるとともに、仏教を政治理念として重んじていた。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X—正 | Y—正 | ② X—正 | Y—誤 |
| ③ X—誤 | Y—正 | ④ X—誤 | Y—誤 |

問5 下線部（4）に関連して、飛鳥時代の文化財（飛鳥文化の遺品）として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 5

- | | |
|------------|-----------|
| ① 広隆寺半跏思惟像 | ② 高松塚古墳壁画 |
| ③ 法隆寺夢違観音像 | ④ 薬師寺吉祥天像 |

問6 下線部（4）に関連して、現在、文化財を保護するための法律として機能している「文化財保護法」は、法隆寺のある宝物が1949年（昭和24年）に火災で焼損したことを契機として制定された。この「文化財保護法」制定の契機となった1949年の火災で焼損した法隆寺の宝物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 6

- | | |
|-------------|-----------|
| ① 法隆寺阿弥陀三尊像 | ② 法隆寺金堂壁画 |
| ③ 法隆寺玉虫厨子 | ④ 法隆寺夢殿 |

問7 下線部（5）に関わって、聖徳太子の時代の倭国と隋との外交について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 7

- ① 『隋書』によれば、600年に倭王が初めて隋に使者を派遣している。
- ② 607年、「日出る処の天子」で始まる書状を携えた小野妹子を使者として、隋の煬帝のもとへ派遣した。
- ③ 608年、煬帝から「親魏倭王」の金印を与えられた小野妹子が帰国したことが、『日本書紀』に記されている。
- ④ 614年には犬上御田鍬らが隋に派遣されたが、まもなく隋が滅んだため最後の遣隋使となった。

問8 下線部（6）に関連して、太子信仰においては、聖徳太子の忌日に行われる「太子講」が注目される。鎌倉時代初期から仏教各宗派でいろいろな形式の「太子講」が行われるようになったが、とりわけ浄土真宗寺院では、開祖が『聖徳太子伝暦』（10世紀頃成立の聖徳太子の伝記）などをもとに『太子和讃』を作成したこともあって、さまざまな太子講が盛んとなった。この太子信仰や「太子講」に大きな影響を及ぼした浄土真宗の開祖とされる僧侶を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 8

- ① 貞慶 ② 親鸞 ③ 日蓮 ④ 法然

問9 下線部（7）に関連して、1121年は、鳥羽天皇・白河上皇の時代に該当する。その白河上皇の時代（白河院政期）の出来事・事件として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 9

- ① 院の御所を警備する、北面の武士を設けた。
- ② 摂関家とは良好な関係が保たれ、摂政藤原頼通による補佐が行われた。
- ③ 天皇と上皇が争い、保元の乱が起こった。
- ④ 平氏が台頭し、平清盛が太政大臣となった。

問10 下線部（8）に関連して、1221年よりも前に起こった出来事・事件として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

10

- ① 御成敗式目が制定された。
- ② 霜月騒動が起こり、安達泰盛一族が滅んだ。
- ③ 将軍実朝が先代将軍の遺児公暁に殺された。
- ④ 宝治合戦が起こり、三浦泰村一族が滅んだ。

問11 下線部（9）に関連して、1321年は後醍醐天皇の時代にあたり、その年の12月には後宇多法皇の院政が停止され、天皇の親政となった。後醍醐天皇について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

11

- ① 侍所を設けて、京都内外の警備や刑事裁判を行わせた。
- ② 幕府討幕の計画を進めたが、幕府側に漏れて失敗した。
- ③ 分一徳政令を発して、分一銭の納入を条件に債権の保護または債務破棄を認めた。
- ④ 天龍寺を造営する費用を調達するため、元に天龍寺船を派遣した。

第2問 次の中世の文化に関する文章A・Bを読んで、下の問い（問1～14）に答えなさい。

A

11世紀後半以降の(1) 院政期には、命蓮という僧にまつわる(2) 説話を題材とした(ア)など、絵と詞書とを織り交ぜて時間の進行を表現する絵巻物が数多く作られた。ただ、鳥羽僧正の作と伝えられる(イ)は、当時の貴族社会や仏教界を風刺した、詞書が無い絵巻物である。

鎌倉時代になると、似絵と呼ばれる写実的な絵画が描かれるようになった。代表的な似絵の作者として(3) 藤原隆信・信実父子があげられる。そのうち藤原信実の似絵の作品としては、(4) 「後鳥羽上皇像」が知られている。またかつては藤原隆信の作とされてきた神護寺に残る「伝源頼朝像」などの肖像画3点は、近年では、(5) 足利尊氏や足利直義を描いたものとする説も有力となってきた。

仏教に関する絵画では、(6) 禅宗の僧侶が師僧の肖像画である頂相を崇拜する風習が中国から伝わったことや、高僧を取り上げた絵巻物が制作されたことが注目される。なかでも、(ウ)福岡の市が描かれていることで知られる『一遍上人絵伝』は、鎌倉時代の社会を知るための資料として重要視されている。また、武士の日常生活や戦闘の様子をうかがい知ることができる絵巻物としては、『男衾三郎絵巻』や(7) 『蒙古襲来絵巻』があげられる。

問1 下線部(1)に関連して、院政期、政治の中心となった上皇は、仏教を信仰し、出家して法皇となって多くの寺院を建立した。そうしたなかで、白河法皇が、その天皇在位中に建立した寺院として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 12

- ① 円覚寺 ② 中尊寺 ③ 平等院 ④ 法勝寺

問2 下線部(2)に関連して、仏教・民間の説話を本朝・天竺・震旦の三つに分類し、和漢混淆文で記した、院政期にまとめられた説話集として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 13

- ① 『吾妻鏡』 ② 『愚管抄』
③ 『古今著聞集』 ④ 『今昔物語集』

問3 空欄（ ア ）（ イ ）に入る絵巻物の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

解答番号 14

- | | |
|---------------|------------|
| ① ア 『石山寺縁起絵巻』 | イ 『鳥獣戯画』 |
| ② ア 『石山寺縁起絵巻』 | イ 『源氏物語絵巻』 |
| ③ ア 『春日権現験記絵』 | イ 『源氏物語絵巻』 |
| ④ ア 『春日権現験記絵』 | イ 『伴大納言絵巻』 |
| ⑤ ア 『信貴山縁起絵巻』 | イ 『伴大納言絵巻』 |
| ⑥ ア 『信貴山縁起絵巻』 | イ 『鳥獣戯画』 |

問4 下線部（3）に関連して、藤原隆信の異父兄弟に藤原定家（母親がともに藤原親忠の女子）がいるが、その藤原定家が編さんの中心となった勅撰和歌集として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 15

- | | |
|------------|---------|
| ① 『金槐和歌集』 | ② 『山家集』 |
| ③ 『新古今和歌集』 | ④ 『明月記』 |

問5 下線部（4）に関連して、後鳥羽上皇と彼が関わった承久の乱について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 16

- ① 後鳥羽上皇は、今様などを集めて『梁塵秘抄』を編さんした。
- ② 後鳥羽上皇は、滝口の武士を設けて、直接的な武力も整備した。
- ③ 承久の乱に勝利した幕府は、朝廷を監視するため京都大番役を置いた。
- ④ 承久の乱に敗れた後鳥羽上皇は、幕府によって隠岐に流された。

問6 下線部(5)に関連して、足利尊氏・足利直義について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 17

- ① 足利尊氏は、京都の室町に壮麗な邸宅(室町殿)を作り、政治を行った。
- ② 足利尊氏は、大覚寺統の光厳天皇から征夷大將軍に任じられた。
- ③ 足利直義は、足利尊氏や高師直らと対立し、享徳の乱と呼ばれる戦乱の中で死亡した。
- ④ 足利直義と尊氏は、初期の室町幕府を二頭政治で運営した。

問7 下線部(6)に関連して、臨濟宗の開祖とされる僧侶として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 18

- ① 栄西 ② 道元 ③ 無学祖元 ④ 蘭溪道隆

問8 空欄(ウ)に入る国名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 19

- ① 伊予国 ② 信濃国 ③ 筑前国 ④ 備前国

問9 下線部(7)に関連して、二度にわたる蒙古の襲来の際、鎌倉幕府を主導する執権の地位にあった人物として正しいものを、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 20

- ① 北条貞時 ② 北条重時 ③ 北条時宗 ④ 北条泰時

B

禅宗の文化は、室町時代の文化を特徴づける要素の一つとなった。墨の濃淡によって禅の深い精神性を具現化した水墨画が（エ）らの画僧によって描かれ、その基礎が築かれた。さらに、(8) 東山文化の頃には、現在の日本の伝統文化を代表する茶道（茶の湯）・花道（生花）の基礎も築かれた。茶の湯では、（オ）が茶と禅の精神の統一を主張して佗茶を創出した。その佗茶は、（カ）によって桃山文化の時代に完成された。また、書院造の住宅や禅宗様の寺院では、禅の精神で統一された庭園がつくられた。その代表が岩石と砂利を組み合わせる象徴的な自然をつくり出した（キ）であり、龍安寺・大徳寺大仙院などの(9) 庭園がよく知られている。

問10 空欄（エ）に入る、「瓢鮎図」を描いた画僧として正しいものを、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 21

- ① 雪舟 ② 周文 ③ 如拙 ④ 明兆

問11 下線部（8）に関連して、その中心的な役割を果たした足利義政が東山山荘に建てた二層建て建築物の呼称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 22

- ① 金閣 ② 銀閣 ③ 修学院離宮 ④ 飛雲閣

問12 空欄（オ）（カ）に入る人物の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

解答番号 23

- | | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|---|------|---|------|
| ① | オ | 松永貞徳 | カ | 宗祇 | ② | オ | 松永貞徳 | カ | 千利休 |
| ③ | オ | 村田珠光 | カ | 千利休 | ④ | オ | 村田珠光 | カ | 古田織部 |
| ⑤ | オ | 山崎宗鑑 | カ | 古田織部 | ⑥ | オ | 山崎宗鑑 | カ | 宗祇 |

問13 空欄（キ）に入る語句として、正しいものを次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

24

- ① 枯山水 ② 公案 ③ ばさら ④ 風流

問14 下線部（9）に関連して、足利義政から天下第一と讃えられた作庭師で、問11の庭園を作った人物として正しいものを、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

25

- ① 一条兼良 ② 世阿弥 ③ 善阿弥 ④ 二条良基

第3問 近世の絵画について述べた次の文章A～Dを読み、下の問い（問1～13）に答えなさい。

A

狩野派の祖は、15世紀中ごろに室町幕府の御用絵師となった狩野正信である。画壇における狩野派の地位は、狩野永徳によってさらに高められた。(1) 織田信長や豊臣秀吉に認められた狩野永徳は、安土城や（ア）などの障壁画を描いた。『唐獅子図屏風』は、その代表作として知られている。

問1 下線部(1)に関連して、織田信長や豊臣秀吉について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

26

- ① 織田信長は、桶狭間の戦いで今川義元を滅ぼした。
- ② 織田信長は、安土城を築城した。
- ③ 豊臣秀吉は、長篠合戦で明智光秀を滅ぼした。
- ④ 豊臣秀吉は、全国統一を実現した。

問2 空欄（ア）に入る、豊臣秀吉が拠点とした城郭の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

27

- ① 胆沢城 ② 大坂城 ③ 小田原城 ④ 春日山城

B

書道・陶芸・漆芸などに秀れた芸術家である（イ）は、書道では独自の書風を創始し、(2) 寛永の三筆の一人に数えられた。陶芸では楽焼茶碗に傑作を残し、蒔絵の名作『舟橋蒔絵硯箱』もよく知られている。(3) 1615年には、徳川家康から洛北の鷹ヶ峰の敷地を与えられ、一族や配下の工芸家を集めて芸術村をつくった。

問3 空欄（イ）に入る人名として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 28

- ① 出雲の阿国 ② 尾形光琳 ③ 俵屋宗達 ④ 本阿弥光悦

問4 下線部（2）に関連して、寛永年間に出された法令の一部として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 29

- ① 万石以上の面々より八木差し上げ候様ニ仰せ付けらるべし……、
② 二念無く、打払ひを心掛け……油断無く申し付けらるべく候、
③ 自今以後、かれうた渡海の儀、之を停止せられ訖、
④ 此度江戸大坂最寄御取締りとして上知仰せ付けられ候、

問5 下線部（3）に関連して、1615年における徳川家康や江戸幕府の動向に関係することがらについて述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 30

- ① 一国一城令を出した。 ② 大坂夏の陣で豊臣秀頼を滅ぼした。
③ 禁中並公家諸法度を出した。 ④ バテレン追放令を出した。

C

“貞享”に続く“(ウ)”は、(4) 17世紀後半から18世紀初頭にかけての(5) 5代将軍徳川綱吉の時代の年号である。この時期を中心とする文化は(ウ)文化と呼ばれる。この文化の時代には、出版事業が盛んになった。出版事業を支えたのは、井原西鶴の浮世草子や、近松門左衛門の活躍を背景とした(6) 浄瑠璃の本だけではなく、菱川師宣らの浮世絵の版画もあった。菱川師宣の作品としては、肉筆美人画の代表的作品である(エ)があげられる。

問6 空欄(ウ)に入る年号として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 31

- ① 安政 ② 慶安 ③ 元禄 ④ 正徳

問7 下線部(4)に関連して、17世紀後半に打ち出された、農村や都市に対する政策として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 32

- ① 旧里帰農令 ② 七分積金 ③ 人足寄場の設置 ④ 分地制限令

問8 下線部(5)に関連して、徳川綱吉の時代の政策や出来事として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 33

- ① 浅間山の大噴火 ② 海舶互市新例
③ 生類憐みの令 ④ 林羅山の大学頭任命

問9 下線部(6)に関連して、この時期、浄瑠璃を語って人気を博した人物として正しいものを、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 34

- ① 河竹黙阿弥 ② 竹本義太夫 ③ 近松半二 ④ 鶴屋南北

問10 空欄（ エ ）に入る語句（作品名）として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

35

- | | |
|--------------|------------|
| ① 「湖畔」 | ② 「弹琴美人」 |
| ③ 「ポッピンを吹く女」 | ④ 「見返り美人図」 |

D

10代将軍徳川家治の頃に幕府の政治を主導したのが(7) 田沼意次である。田沼時代を中心に形成された宝暦・天明期の文化を代表する浮世絵師として、多色刷の版画である錦絵を完成した鈴木春信があげられる。11代将軍徳川家斉の時代に形成された化政文化の頃には、(8) 葛飾北斎や歌川広重らの浮世絵だけでなく、(9) 渡辺崋山らによる文人画、呉春(松村月溪)らによる写生画なども描かれた。

問11 下線部(7)に関連して、田沼意次の政策に影響を与えた工藤平助の著作として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 36

- | | |
|------------|-----------|
| ① 『赤蝦夷風説考』 | ② 『海国兵談』 |
| ③ 『西域物語』 | ④ 『自然真営道』 |

問12 下線部(8)に関連して、葛飾北斎と歌川広重の浮世絵作品の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

解答番号 37

- ① 葛飾北斎『東海道五十三次』／歌川広重『当時全盛美人揃』
- ② 葛飾北斎『東海道五十三次』／歌川広重『富嶽三十六景』
- ③ 葛飾北斎『当時全盛美人揃』／歌川広重『東海道五十三次』
- ④ 葛飾北斎『当時全盛美人揃』／歌川広重『富嶽三十六景』
- ⑤ 葛飾北斎『富嶽三十六景』／歌川広重『東海道五十三次』
- ⑥ 葛飾北斎『富嶽三十六景』／歌川広重『当時全盛美人揃』

問13 下線部(9)に関連して、渡辺崋山は1837年に発生したある事件に対する幕府の対応を批判した。その事件の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 38

- | | |
|--------------|-------------|
| ① サン＝フェリペ号事件 | ② ノルマントン号事件 |
| ③ フェートン号事件 | ④ モリソン号事件 |